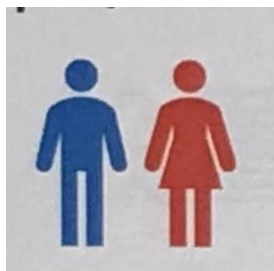


加古川市政記者クラブ・姫路市政記者クラブ
兵庫県政記者クラブ・厚生労働省記者会・報道関係者各位

「LGBTQフレンドリーな健診クリニック」への取り組みは “すべてのお客様のよろこび”につながる

日本プライマリ・ケア連合学会 学術大会で学術大会長賞を受賞した
「まるっとインクルーシブ病院の実装プロジェクト」きむ代表が支援



左から、大西メディカルクリニック健診室高坂(こうさか)さん 同久城(くしろ)さん、サポートしてくださった、きむ ほんぢゃさん、ご協力いただいたトランスジェンダーAさん、

改善前のトイレ表示
男女別の表示

LGBTQフレンドリーな
トイレの表示
性別に関する表示がない

【概要】

日の出医療福祉グループの大西メディカルクリニック(兵庫県加古郡稲美町 院長:大西 奉文(おおにし ともゆき))健診室は、久城 恵美(くしろ めぐみ)さんをリーダーとして、2021年(令和3年)6月から、『LGBTQフレンドリーな健診クリニックへの取り組み』を進めています。

【きっかけ】

きっかけは、職員の「健康診断を受けないといけないが、自分はセクシュアルマイノリティ(LGBTQ)なので抵抗感がある、安心して受けられない」という声でした。これを受け、ご縁をいただいた『まるっとインクルーシブ病院の実装プロジェクト』代表のきむ ほんぢゃさんに相談し、今回の取り組みを始めました

【取り組み】

2021年6月に健診室スタッフら9名が参加するLGBTQを理解するための研修を実施しました。以降、きむさんと毎月1回のオンラインミーティングで改善点と対応策を考え、現場に反映しています。健康診断の受付時から診察まで、トイレや更衣室、検査着などのハード面から、受付での呼び方や検査時の対応などのソフト面まで、すべてをきめ細かく見直しています。2022年1月には、トランスジェンダーの方に現場視察していただきフィードバックを受けてさらなる改善を図っています。

【成果】

この取り組みが、検査時の肌の露出や更衣室でのプライバシーへの配慮など、セクシュアルマイノリティという限られた方々のためだけではなく、一般の受診者の方への対応を改善するためにも役立つことに気づきました。今では、“すべてのお客様のよろこび”のため、「本当に誰もが安心して受診できるようになっているのか」、あらためてこれまでのやり方を見直して変えていこうと考えています。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

広報担当: 中島 史朗(なかしましろう)

Mobile phone: 080-4779-7682

Mail: nakashima.sr@hinode.or.jp

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者: 代表理事 大西 壮司

設立: 2016年7月

会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス: 介護、保育、医療

事業所数: 166カ所 職員数: 約3200人 (2022年1月)



※『まるっとインクルーシブ病院の実装プロジェクト』代表・きむ ほんぢゃさん

2013年から飯塚病院(福岡県飯塚市)などに勤務。2020年春、セクシュアルマイノリティの知人に「新型コロナウイルスに感染しても安心して病院に行けない」と打ち明けられ、同年10月、「だれもが安心して過ごせる医療機関の実装プロジェクト」を多様なセクシュアリティを有するメンバーとともにスタート。2021年5月の「日本プライマリ・ケア連合学会」の学術大会でこの活動を発表し、学術大会長賞に選ばれる。1年以上の議論の成果を盛り込み、LGBTQフレンドリーな医療機関での対応をまとめた資料「実務支援ツール」を作成。このツールは現在、数か所の医療機関でモニターとして現場で使用。さらに改善していく予定。

【経過詳細】

昨年6月、研修と現場視察を経て、きむさんから、健康診断の受付から終了時まで、ソフト面とハード面の課題と今後の改善策について、きめ細かい提案書をいただきました。7月下旬に1回目のオンラインミーティングを開始し、各提案項目について、できることから少しずつ始めていき、毎月のオンラインミーティングで進捗確認しながら改善していくこととしました。

(提案書の一部:「受付」について)

受付

- ・受付
- ・問診表の確認
- ・検査着の受け渡し

- ・後方に更衣室
- ・右奥に回るとトイレ



【懸念・課題・提案】

- ・受付と待合の場所が近いので、受付時のやり取りが聞こえるのではないか。
- ・空欄への追加記載などの依頼や健診案内時の工夫があるとよさそう。
- ・椅子の配置や数などの調整が可能か否か。

(提案書の一部:「トイレ」について)

トイレ概観

- ・突き当り: 
- ・手前:  
 - ・次スライドに内装
- ・いずれも室内から尿検査の提出可能



- ・受付より後方奥に位置

【懸念・課題・提案】

- ・入っていくのが目につかない場所にあるのは、良い。
- ・上記のピクトグラムから、「みんなのトイレ」表示も良いかと思われる。

この取り組みのリーダー・大西メディカルクリニック健診室の久城 恵美さんの話

「LGBTQ」という言葉は知っていましたが、以前は、仕事の中では、全く意識していませんでした。

「セクシュアルマイノリティの方々は、『健康診断質問票』の性別欄の『男・女』に○印をつけるだけでも抵抗がある」という話を聞いて、「あ、そういう風に感じるんだ。初めて知った」と驚くばかりでした。

細かいことでも、「それは本当にセクシュアルマイノリティの方々を含め、誰でも安心して受診できるのか？」と問われると、「やっぱりそれでは安心できないだろうね。抵抗感あるだろうね」と毎回、気づかされることばかりでした。そのうち、自分たち同士で「それって本当に安心してもらえるのかな？」と話し合うことも増え、改善を進めてきました。

ある程度改善が進んできた10月頃から、本当にこれでいいのか、実際にセクシュアルマイノリティの方々の反応を聞いてみたい、と思うようになりました。そこで、きむさんをお願いして協力して下さるトランスジェンダーの方を募集し、この1月に現場視察に来てもらったのです。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

広報担当: 中島 史朗(なかしましろう)

Mobile phone: 080-4779-7682

Mail: nakashima.sr@hinode.or.jp

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者: 代表理事 大西 壯司

設立: 2016年7月

会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団 奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス: 介護、保育、医療

事業所数: 166カ所 職員数: 約3200人 (2022年1月)



【経過詳細】

現場視察では、健康診断の受付から終了時まで、ソフト面とハード面についてきめ細かくチェックしていただき、全体として好意的な評価を得ました。特にトイレと検査着でこんなに喜んでもらえる、感動したとまで言ってもらえるのだと、とっても嬉しかったです。一方で「まだまだ変えていけるところがあるのでは？」とさらに前向きな気持ちになりました。

健康診断質問票

	戸籍上の性別	
	男・女	大・西暦

『LGBTQフレンドリー』な質問票
「戸籍上の性別」と変更した



『LGBTQフレンドリー』なトイレ表示
あえて性別表示がないものを採用



『LGBTQフレンドリー』な検査着、
性別による色分けがない

【フィードバックの詳細】

・**受付**: 現在は受診者を名前で呼んでおり、トランスジェンダーの方にとっては、戸籍上の名前と呼ばれたとき、周囲の好奇の目にさらされるおそれがあり抵抗感がある。カードを見せて確認するなど、声を出して名前を呼ばない方法に統一していくことを提案。(※今後番号で呼ぶシステムを導入するため、この問題は解決予定。)

・**健康診断質問票**: 性別欄を「性別」から「戸籍上の性別」と変更したことで記載がしやすいと思われる。あらかじめ病院側に連絡しておけば、「氏名」欄に保険証の名前と違う「通称名」を記入できる、というしくみを検討してほしい。

・**トイレ**: サインボードの「男女別表示」の代わりに、性別を指定しない「誰でもOK表示」が掲示されていること、通路から直接個室に入ることができる目線を気になりにくいので、とても利用しやすい。サインボードも含め感動した。

・**更衣室**: 病院側から受診者に対して性別を指定せず本人にまかせている、のはよい。

・**検査着**: 「男女別」「サイズ別」の色分けがないのは素晴らしい。トランスジェンダーの方にとっては、性別などによる分類がないことで全く受診のしやすさが違う。アピールポイントになるのでぜひホームページに掲載してください。

・**検査時**: 心電図などの検査で、服をどこまでたくし上げるのか本人にまかせている、のはよい。現在は女性のみ肌を露出させないようにタオルで覆っているということだが、戸籍上の性別に関わらずどんなときでも覆うことが望まれる。

・**全体**: カーテンの仕切りや、個別の更衣場所など、プライバシーへの配慮がある、のはよい。

【今後】

日の出医療福祉グループは、医療をはじめ介護・保育の分野でも、今まで当たり前だったやり方を根本的に見直し、“すべてのお客様のよろこび”につながるように変えていき、「新しい医療」「新しい介護」「新しい保育」を確立していきます。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

日の出医療福祉グループ

広報担当: 中島 史朗(なかしましろう)

Mobile phone: 080-4779-7682

Mail: nakashima.sr@hinode.or.jp

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者: 代表理事 大西 壮司

設立: 2016年7月

会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス: 介護、保育、医療

事業所数: 166カ所 職員数: 約3200人 (2022年1月)

